

漢字は書く事だけが難しい

大修館書店が発刊する『大漢和辞典』を調べました。58,412 文字が収録され、仮名相当の画数(1~4 画)の漢字は僅か 0.95%です。30 画以上の漢字も 0.44%で、殆どの漢字は 10 画から 20 画に集中しています。学校で行われる漢字書取試験の苦い思い出と、画数が多いので書くのに時間が掛ることから、「漢字は難しい」と感じるのでしょう。そう感じることは致し方ないのですが、日本語に取り込んだ漢字の素晴らしい力を知れば、描くのが難しい感じが好きになると思っています。

漢字仮名混り文は読み易い

世の中の絵本は殆ど総仮名書きです。子供に読んであげる時、^{どこ}何処で区切れれば良いのかが掴み難く、苦勞したでしょう。実際に「総仮名書き」と「漢字仮名混り文」を読み比べて頂くと、全ての方が「漢字仮名混り文」が読み易いと答えます。名詞と、動詞や形容詞の主幹部分の殆どを漢字で書くと、区切りが明確に把握できるためです。大人用の書物は全て「漢字仮名混り文」なのはそれが理由です。しかし、「子供用の本は仮名書き」と思い込む人が多いので、絵本が仮名書きになっています。読んで貰う側の子供にとっても、「漢字仮名混り文」の絵本の方が、言葉も文字も早く覚えます。勿論、書くのは簡単にはできませんが、読むのはいとも簡単に出来てしまいます。その理由は漢字の作られて来た経過にあります。

漢字の部品には意味がある

漢字は象形文字から始まっていますが、漢字の 90%以上が部品を組合せて作られています。^{それぞれ}夫々の部品が音と意味を持っています。作られた漢字は音と意味の組合せ、意味と意味との組合せ、及びそれら両方になっています。つまり、漢字の記憶が増える程に、漢字の部品の意味と音に気付くようになります。石井勲の著書で紹介している、幼稚園生が「悪魔」の読み方と意味を推理した例は、漢字が部品で構成されていたからできたのです。

外国から新しい概念を導入するとき、新しい概念を発見、または発明してそれを広めたいとき、新しい言葉と表記を用意する必要があります。高層階に上る為の階段に加え、昇降機が発明されました。英語圏で、「^{エレベーション}高度を変えるもの」という意味で語尾変化させ、エレベーターと呼びました。これを日本に持ち込んだ時、昇降機と翻訳すると共に、片仮名書きも使うようになりました。もう一つの方法は、読みは其の儘取り込んで文字を作る方法です。峠や袷に見習って、上と下を組み合わせた旁を^{つくり}口の中に置く(右上を参照)方法もあります。



日本語への漢字の導入

^{いにしえ}古の日本人は絵文字や線画は発明していましたが、中国で発明された漢字の便利さには敵いませんでした。そこで、中国から漢字を輸入しました。意味と音と^{おん}共に輸入する事は言葉を置換える事になり

ますから、意味か音^{おん}を捨てる必要があります。まず、意味を捨てる処から始めました。万葉仮名として残っているのが其^それです。その後、草書体を更に簡略化して平仮名^{ひらがな}になりました。その一方で、音^{おん}を捨てることも行いましたが、これを漢字の訓読み^{くんよ}と呼びます。漢字の訓読みと平仮名による語尾変化や助詞、接続詞によって、日本語の表記が自由にできる様になったのです。

一方、漢字の音読み^{す き}も棄て切りませんでした。「昇^{のぼ}ったり降^おりたりすること」を「昇降^{しょうこう}」と音読みすれば、表記も音^{おん}も少なくして、端的^{たんでき}に表現することができます。

これらの漢字導入を多くの先人の長期間^{わた}に互る努力^{ただただ}で日本語として定着してきたのです。先人の努力に、唯々^{ただただ}感謝する次第です。

漢字仮名混り文を世界共通言語に

通信や交通手段の発展に伴って、人類社会は狭くなり、日本に暮らす外国人が全く理解できない言葉を使っている事もあります。世界中の言語が統一されることは、夫々の伝統と文化を断絶しかねない事もあって、決して実現する事は無いと思います。しかし、相互の言葉を互いに取入れたり、自動翻訳機の能力が向上したり、言葉が通じ易くなる程に、言語や文化の相違を超えた親密な意見交換^{コミュニケーション}が実現するようになることを望んでいます。

一つの可能性は「漢字」の活用です。日本人が行った漢字の意味を取る方法を、世界中の人が行えば、言葉が通じなくとも筆談で通じ合うことができます。韓国人や中国人とは筆談ができます。漢字の意味を取り入れた日本語を使っているおかげです。

館長の独り言

日本語体系は世界随一

石井勲博士は、「日本の漢字仮名混り文は世界で最も優れている。」と、言っています。また、他国の文字を訓読みで取り入れたことは、クメール人と日本人だけが行った優れた方法であると述べています。

また、漢字の部品には意味があることで、新たな文字を作ることもできます。この優れた漢字を夫々の国の言葉を表す文字として導入するのは、決して容易^{たやす}い事ではありませんが、漢字の優れた能力を失うことなく導入できるのです。また、この方法を世界中で取り入れれば、異なる言葉を使っている人たちとも、筆談で意思疎通が図れるようになります。

石井未来館館長 石井峻

<http://ishii-miraikan.com>